

防災ニュース

NO.

211

巻頭言

「高層化する都市の防災」

予防行政の取り組み紹介

～八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部の予防行政～



2017. 7



公益財団法人 日本防災協会
JAPAN FIRE RETARDANT ASSOCIATION

〔巻頭言〕「高層化する都市の防災」

..... ノンフィクション作家 高見澤 たか子 2

〈予防行政の取り組み紹介〉

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部の予防行政

..... 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 消防長 大橋 俊直 4

こんなところに防災製品 (公財) 日本防災協会 広報室 8

「堀内商店」伝統神社仏閣を火災から護る

..... (公財) 日本防災協会 京都事務所 10

協会からのお知らせ

平成29年度消防機器等関係者表彰式

((一社)全国消防機器協会会長表彰式)開催される 12

日本クリーンズ防災協会

創立50周年記念式典に参会しました 14

予防広報委員会開催される 16

防災普及に一役買っています 18

バリアフリー展出展報告 20

平成28年度事業報告書及び決算報告書の概要 25

防災北から南から 39

協会ニュース 42

〔巻頭言〕

高層化する都市の防災

ノンフィクション作家 高見澤 たか子



この6月に起きたロンドンの高層マンション火災のニュースは、未だに忘れられない悪夢ではないでしょうか。建物全体が巨大な火柱になり、逃げ場を失った人が窓から飛び降りる悲惨な映像がテレビに映し出されました。

女流作家桐野夏生さんが五年ほど前に発表した「ハピネス」という作品は、東京お台場のタワーマンションが舞台でした。高層マンションならではの暮らし方や子育てが物珍しい話題になりましたが、いまや、大都市に限らず、高層マンションは日本中に林立しています。しかも居住者の高齢化が進んでいます。当然「日本はだいじょうぶなの？」という声が湧き上がりました。マンション問題に詳しい専門家からは、「日本のタワーマンションは、火災に備えた設計になっている上に、さまざまな防火対策が施されている」という楽観的な意見が表明されています。

日本の消防法では、高さ31メートル（約11階）を超える建物は「高層建築物」と定義され、スプリンクラーや火災報知器の設置、壁や床を耐火構造にすること、カーテンやじゅうたんに防災品を使用することなどが義務づけられているのだそうです。ロンドンのタ

ワーマンションが火のまわりが激しかったのは、スプリンクラーもなく、外壁には燃えやすい材料が使われていたことが指摘されています。やっぱり日本は…と言いたいところですが、昨年東京消防庁が都内の高層マンションに立ち入り検査をしたところ、約8割に消防法違反があったそうです。

私がマンション住まいをしていたのは、もう二十年も前のことですが、消防署の検査があることを前もって管理人さんが知らせてくれて、ベランダの隣家との境に物を置かないようにとか、防火シャッターが作動しやすいようにしておくなど、事前に模範的な状況に整えるようにしていました。またその頃は各戸に火災報知器もついていなかったと思います。9階建てのマンションでしたから、「高層建築物」ではなかったにせよ、いざ火事となったら、どのように避難するのか、マンションの居住者が揃って避難訓練をしておく必要があるわけですが、自治会で実行したのは十年間住んでいる間、一度か二度でした。それでもマンションの自治会があり、「防火管理者」を選出したりしていましたが、いまやそうしたことは面倒だという居住者が多くなったという話も聞きます。

超高層であろうが、低層であろうが、何十世帯の人たちが一つ屋根の下で暮らす集合住宅では、防火設備はもちろんのこと、居住者一人ひとりの防災意識がとても重要ではないでしょうか。ことに高齢化の進んでいるいま、ちょっとした不注意や不幸な偶然が重なって火事になるのを防ぐために、防災製品をもっと身近に使う教育やPRもだいじだと思います。私が父を看取った頃は、防災に対する知識もなく、喫煙者だった父の寝具やこたつ掛けに、たばこの焼け焦げを見つけるたびにぞっとしたものです。

ロンドンのタワーマンションの火災の恐ろしい映像をきっかけに、都市で暮らす人たちが真剣にわが身に引きつけて、「防火」ということを考えていかなければと思います。

予防課は設備指導班と保安調査班で構成され、設備指導班では消防同意、着工届出の審査、防火対象物違反是正の指導、民間防火組織等の事務を行い、保安調査班では危険物施設の許認可、完成検査、違反処理事務及び火災調査の指導を行っています。

また、各消防署では予防課で図面審査した防火対象物及び危険物施設（移動タンク貯蔵所等）の完成検査、立入検査並びに火災調査を主に従事しています。

3 査察、違反処理体制

管内の防火対象物数は約13,000件で、査察規程により5種類に区分し、毎年又は2年毎、あるいは随時で年間査察を計画し行っています。特定防火対象物における屋内消火栓設備又は自動火災報知設備の未設置件数は、平成29年4月現在17件で、予防課と管轄消防署特別査察隊で違反処理を進めています。なお、火災予防条例により平成30年4月から、公表制度を行うこととしました。

一方、管内の危険物施設数は約2,000施設で、査察規程により4種類に区分し、毎年重点実施施設を定めて査察を行っています。また、八戸市沿岸の「石油基地」は石油コンビナート等特別防災区域に指定されており、危険物施設193施設を共同防災組織体制により、有事に備えています。

4 住宅防火対策及び防災製品の展示

管内の住宅用火災警報器の設置率は平成29年4月現在79.5%で、毎年僅かに上昇しているものの、設置率は伸び悩んでいる現状です。毎年、青森県消防設備保守協会、八戸地域防災協会及び一葉会（八戸市内事業所の女性会）などの団体から警報器の寄贈を受け、災害時要援護者世帯（高齢者一人二人暮らし・身体障害者）への設置活動を行ったり、火災予

防運動期間の各種イベント等において、普及啓発を行うとともに電池や本体の交換時期についても広報活動しています。

また、当消防本部庁舎は平成24年3月に新築移転し、同時に庁舎見学者へ高機能指令センターを見学できるスペースを設けました。そのスペース内に公益財団法人日本防災協会さんから寄贈されたパネルや防災製品のサンプルを展示し、防災製品使用に関する意識の高揚を図っています。



防災製品展示

5 民間防火組織等

八戸地域防災協会（防火管理部会・消防設備部会・自衛消防部会）には、約1,000事業所が加盟しており、防災士の養成、災害時要援護者支援事業、幼年・少年・女性消防クラブの育成強化の助成など、地域防災へ積極的に取組活動を行っています。具体的には、例年、当協会の助成により加入事業所から数名が防災士として認定を受けています。また、災害時要援護者支援事業として、住宅用火災警報器を100個程度寄贈設置するとともに、水道蛇口の漏水改修、住宅用消火器や火気使用器具の無償点検を行っています。

八戸地域幼年消防クラブ連絡協議会は96クラブで組織され、火災予防運動期間に防火パレードや防災広場を開催して、防火広報を行っています。また、隔年ですが96クラブ全体で一堂に会し「防災



住宅用火災警報器寄贈事業



「防災フェスタ2014」八戸市体育館で約1,600名集う



八戸地域少年消防クラブ育成協議会は22クラブで組織され、毎年夏休みに種差少年自然の家へ集い、2泊3日の日程で「少年消防クラブリーダー研修会」を行っています。今年で40年目となりますが、研修では団体生活を通じてクラブ員の交流をはじめ、濃煙体験、消火実験や地震体験車への搭乗など火災予防に関する勉強会を行っています。



少年消防クラブリーダー研修会

八戸地域女性消防クラブ協議会は27クラブで組織され、火災予防運動期間に防

「フェスタ」を行い、幼年期における防火に対する意識の高揚を図っています。ちなみに前回の平成26年は約1,600名の参加があり、今年は10月開催を計画しているところです。また、各クラブ指導者（保育士）を対象に毎年普通救命講習を開催して、救命の向上にも努めています。

火パレードを行ったり、各市町村の総合防災訓練での炊き出し訓練に参加するなど、安全な地域社会作りのための防火意識の啓発に貢献しています。

6 広報活動体制

当消防本部では、平成20年6月から義務付けられた住宅用火災警報器の普及、設置促進にあたり、住民へどうしたら印象付けられるのかを考案した結果、翌年5月に火災予防啓発キャラクター「防災戦士ダッシュ119」を誕生させました。この戦士は消防職員3名で組み、祭典や総合防災訓練など人が集まる会場に出勤して、火災警報器の必要性や消火器の使用方法など寸劇を通してわかりやすく、年間20回程度活動しています。

また、過去の大地震の揺れも体験できる地震体験車を活用し、県をはじめ各市町村の総合防災訓練、各種イベントや防火教室などで、地震の揺れの恐ろしさを肌で体験させています。



防災戦士ダッシュ119



地震体験車による搭乗体験

7 おわりに

以上、当消防本部の予防行政について、紹介させていただきました。

我々自治体消防には、各種災害から地域住民の生命、身体及び財産を守る義務が課せられています。そのため当消防本部では、毎年度初めに消防行政基本方針として「住民生活の安全確保」を掲げています。全国の火災統計では、建物火災の6割は住宅が占め、その死者数は8割以上に達しています。その予防施策として、まず住宅用火災警報器設置による早期発見、さらには防災物品の使用による延焼防止など、身近にできることを取り入れることで、住宅火災の防止及び死傷者の減少に最大限の効果が上がるものと思います。

今後も、これらの地道な活動を通して、住民生活の安全確保を充実できるよう予防行政に取り組んでまいります。



こんなところに防災製品

(公財)日本防災協会 広報室

～ソファに着いたタバコの火の焦げに困ったイタリアン・バル～

椅子の側地を防災製の布に換えた飲食店があるとの情報を得て、「ピッツェリア バール ナポリ中野」を訪ねました。イタリアンな雰囲気が漂う店内は、喫煙ができて飲酒もできることから外国人客の来店が多く、中野駅に近いこともあり盛況な様子がうかがえました。

オーナーは、「椅子にタバコの火による焦げが多くあることから火災を心配した。お客様の安全・安心を考え、ソファのリニューアルにあたり燃えにくい生地を選びました。」と認定を受けた防災品にしたいきさつを話してくれました。また店内装飾に使われているビールメーカーの広告幕にも防災ラベルを見つけ、夜になると大勢の来場者でにぎわう店内ですが、見えないところでしっかり防災品が守ってくれていることが判りました。一度訪ねてみてはいかがでしょうか。



店舗外観



防災ソファ



ソファの防災ラベル



店内の装飾幕



防災ラベル貼付

— 消 防 機 関 の 皆 さ ま へ —

防災物品・防災製品の普及・奏効例を ☆お知らせください☆



防災物品（カーテン、暗幕、どん帳、布製ブラインド、じゅうたん等、展示用合板、舞台において使用する幕および大道具用の合板、工事用シート）、防災製品（寝具類、衣服類、テント類、シート類、幕類、自動車・バイク等のボディカバー、布張家具等、防護用ネットほか）の普及活動事例及び火災をくい止めた実例を「防災ニュース」誌上でご紹介したいので、ぜひご一報ください。

（公財）日本防災協会 広報室

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-1-5 共同ビル
TEL 03-3246-1661 FAX 03-3271-1692

「堀内商店」伝統神社仏閣を火災から護る

(公財) 日本防災協会 京都事務所

江戸時代に創業、手作業の型摺りによる御幌（おとぼり）や門帳（もんちょう）などの神祇調度品を専門にする堀内商店（京都市北区、代表堀内益雄氏）を訪れました。



堀内益雄氏 「現代の名工」 表彰や制作品

同店は、平安朝時代に決められた型様式を踏襲して一定化を図るため、全国で唯一、神社装束業界から制作をすべて任されており、京都の神社仏閣のみならず、一店で御所並びに伊勢神宮、出雲大社、諏訪大社など全国約55,000社の型摺りを手掛けておられます。

店内に入るとカウンタ内に制作品と並んで、受章された勲章や「現代の名工」（卓越した技能者であり、当該技能において国内で第一人者と目されている方に対し、厚生労働大臣が表彰する制度）をはじめとした数々の表彰状が掲げられ、

14代に渡る伝統の重みが伝わってきます（息子さんと15代目）。

紋や柄は5万種類以上もあり、そうした紋や柄をすべて覚えることが仕事の第一歩であり、もちろん今では紋を一目見るとどこの神社のものであるか、即座にわかるのですが、そうした紋や柄を、代々継承されている型紙の上から、刷毛で染料を手摺りで生地（しじ）に摺りこんでいくという一子相伝の秘法の作業です。



手摺りでの摺りこみ作業

生地に使う絹や木綿が化学繊維に変わり、染料にも植物から作った染料に化学染料が混じってきたことから、本来の色合いを出すことが難しくなってきたと語られますが、正絹をはじめ、化学繊維に至るまで、生地の特徴に合わせて摺り込む技能に名工としての高い評価を受けておられます。



代々伝わる型紙も貴重

ある定義によりますと帳（とばり）とは「いわばカーテンの一種」とありますが、神社仏閣のカーテン様のものには消防法の防災規制は及ばず、消防機関の指導があったり、神社仏閣関係者からの防災についての要望が寄せられることもほとんどなく、時には「防災にまでしなくても」とのやりとりもあるとのことですが、「伝統ある神社仏閣の防火の重要性」を認識され、防災原反を使用し少しでも文化財保護に役立てば、と地道かつ積極的に制作し続けておられるのは、名工としての意識の高さの証しではないでしょうか。



世界遺産上賀茂神社



上賀茂神社壁代

さて、エピソードを一つご紹介して結びとします。

同氏がかつて小豆島を旅行で訪れた際に、「二十四の瞳映画村」の天満宮の梅の門帳が強い潮風にさらされてずたずたに傷んでいる状態であるのを見て、ご自身で手がけたものを寄贈すると申し出されたとのことですが、その際の「感謝感謝です。本当に心よりお礼を申し上げます。」の言葉が同村スタッフのブログに掲載されているのにめぐりあいました。（旅行の際の1回のみならず、その後も何回か寄贈され続けたとのこと。）

同氏の制作品や技能が防災への思いとともに時を超えて継承されていくことを願わずにはられません。



春日神社門帳

平成29年度消防機器等関係者表彰式 （（一社）全国消防機器協会会長表彰式） 開催される

（公財）日本防災協会 総務部

平成29年度消防機器等関係者表彰式が平成29年5月31日（水）に芝パークホテル別館「ローズ」の間で開催され、消防機器、消防設備等の分野でそれぞれ功績のあった方々が表彰されました。

平成29年度消防機器等関係者表彰について

消防機器等関係者表彰は、①消防機器等に関する発明、考察又は技術の向上若しくは普及に貢献し、他の模範となる者、②協会又は正会員団体の業務の推進又は拡充に努め、その功績顕著である者、③企業等の近代化又は経営の合理化に努め、他の模範となる者を一般社団法人全国消防機器協会会長が表彰するもので、平成29年度は54名の方が受賞されました。



このうち、防災関係での栄えある受賞者は次の方々です。

平成29年度消防機器等関係者表彰受賞者（防災関係）

（氏名：五十音順）

氏 名	所 属	役 職
片山 秀二郎	大一帆布株式会社	代表取締役社長
鎌田 厚司	日本クリーナーズ防災協会	副理事長
鎌田 昌宏	モリリン株式会社	産業資材グループ 理事 統括部長
関山 豊光	日本室内装飾事業協同組合連合会	理事 九州ブロック会会長
那倉 勝一	日本防災処理工業会	会長
水越 隆之	ベニクス株式会社	代表取締役社長
南 耕一	丸菱油化工業株式会社	執行役員 営業副本部長



（左から南氏、鎌田（昌）氏、水越氏、鎌田（厚）氏、那倉氏、関山氏、片山氏）

表彰式では、一般社団法人全国消防機器協会 北爪敬治会長の式辞の後、同会長からそれぞれの受賞者に対して賞状が授与されました。次いで来賓を代表して、青木信之消防庁長官、日本消防検定協会理事長、一般財団法人日本消防設備安全センター理事長が、それぞれ祝辞を述べられました。

日本クリーナーズ防災協会 創立50周年記念式典に参加しました

(公財)日本防災協会

平成29年6月12日（月）東京都千代田区のルポール麹町において、日本クリーナーズ防災協会創立50周年記念式典が開催され、(公財)日本防災協会からも丸山理事長が参加しました。多くの来賓を迎え、武井秀夫理事長の開会挨拶に始まり盛会裏に開催されました。



開会挨拶をする武井理事長

日本クリーナーズ防災協会は、昭和41年12月14日に38名の会員をもって誕生しました。設立前の昭和37年から全国的に火災予防効果のある防災処理の法的義務付けが始まり、昭和39年に前回の東京オリンピックが開催されたその当時は、建築物の近代化高層化が進むなど社会情勢が大きく変貌する時代でもあり、まさに「防災の幕開けの時代」と言われた時期に創立され、この度半世紀の佳節を迎えました。

(公財)日本防災協会とは、前身の日本防災協議会の時代から繊維製品に防災性能を付与する処理技術の開発や防災技術者に対する講習等を通じてお互い協力しあいながら歩んできており、日本クリーナーズ防災協会は国民の安全・安心に大きく貢献し、今後も更なる躍進が期待されております。

記念式典では、全国から多数の会員が一堂に会するなか、創立期を知る山田庄助会

長から、それぞれの時代背景や社会の状況、科学の進歩など大きな変遷のなかにあつて、その時々苦勞話など防災化に情熱をもつて取り組んでこられたこの50年間のあゆみについての講話がありました。



山田会長による「50年のあゆみ」

また、記念講演では（公財）市民防災研究所理事として市民の立場から発想した内容の防災普及活動を積極的に行っている池上三喜子氏による「防災品の認知度・普及率を高めるには？」と題して、解りやすい語り口で防災品の普及について講演があり、防災について再認識できる内容に大きな拍手が送られました。



池上氏による記念講演

予防広報委員会開催される

(公財)日本防災協会

平成29年6月28日（水）14時から、TKP東京駅前カンファレンスセンター4階ホール4Aにおいて、予防広報委員会を開催しました。

同委員会の委員は、東京消防庁予防部長及び政令指定都市予防部長（予防担当部長を含む）で構成されており、防火対象物における火災予防対策の一環として、防災品の役割及びその普及方法について検討するため、当協会が設置しているものです。

委員長である丸山理事長及びオブザーバーである消防庁、鈴木予防課長挨拶の後、議題に沿って説明と質疑応答、意見交換が行われました。

各委員からは、各都市における防災品の普及促進に関する情報や課題、奏効事例等の報告が行われました。

本委員会において報告された奏効事例については、今後、防災ニュースで順次紹介してまいります。



1 議題

- (1) 防災品の普及広報活動
- (2) 各消防本部からの回報資料

住宅防火対策事業の支援として、日本防災協会が配布した防災製品の活用状況
防災物品、防災製品の奏効事例

高層（高さ31mを超える）共同住宅に対する防災物品使用の指導、取組等
新築、改修時等において防災製品導入を指導した事例

防災品普及広報活動の取組状況について

日本防災協会で開催している防災講座に対する各本部の評価、要望

日本防災協会への要望事項

2 出席者

出席委員は以下のとおりです。

委員長	丸山 浩司	公益財団法人日本防災協会理事長
委員	萬年 清隆	札幌市消防局予防部長
(代)	平井 克典	仙台市消防局予防部予防課主幹
委員	永瀬 邦彦	さいたま市消防局予防部長
委員	森田 峰雄	千葉市消防局予防部長
委員	柏木 修一	東京消防庁予防部長
委員	坂本 浩	横浜市消防局予防部長
委員	日迫 善行	川崎市消防局予防部長
委員	青木 浩	相模原市消防局副消防局長
委員	涌井 勇人	新潟市消防局次長
委員	松田 学	静岡市消防局予防担当部長
委員	伊藤 晃	浜松市消防局消防次長（予防課長事務取扱）
委員	星野 安彦	名古屋市消防局予防部長
委員	山村 忠樹	京都市消防局予防部長
委員	山下 毅	大阪市消防局予防部長
委員	大上 仁司	堺市消防局予防部長
(代)	上山 繁	神戸市消防局予防部建築課長
委員	藤原 誠	岡山市消防局審議官
委員	月成 幸治	北九州市消防局予防部長
委員	野見山 隆	福岡市消防局予防部長
(代)	緒方 昭洋	熊本市消防局予防課長
オブザーバー	鈴木 康幸	消防庁予防課長
オブザーバー	恵崎 孝之	消防庁予防課課長補佐

※（代）は委員の代理として出席

防災普及に一役買っています

(公財)日本防災協会 広報室

～横浜市民防災センターに防災品が展示されています～

横浜市民の防災意識と防災行動力の更なる向上を図る為、平成28年春にリニューアルオープンし、1年が経過して以前に比べても数倍の来館者数を見るなど、各方面からも注目されている横浜市民防災センターを訪問しました。

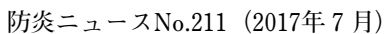
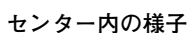
この防災センターは、市民や企業従事者が火災・地震・風水害等いつ遭遇しても冷静に初期消火や避難行動がとれるようにするため、最新の技術を用いた地震シミュレーターや減災トレーニングルームなどの体験設備が充実しています。また、自由に見学できる防災ライブラリーには、防災・減災に備えるための最新情報が豊富に整っているほか、災害の被害や特性を学ぶことができる横浜ハザード



横浜市民防災センター

当協会ではリニューアルにあたり数種

炎品に触れてみてはいかがでしょうか。



バリアフリー展出展報告

(公財)日本防災協会 広報室

平成29年4月20日(木)から22日(土)までインテックス大阪に於いて「バリアフリー2017」が開催されました。



協会ブース

“第23回 高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展”として開催された展示会です。今年から看護未来展2017が同時開催され、これまでの慢性期医療展と併せて介護福祉のさらなる総合福祉展となりました。来場者は主に、介護・病院・施設職員をはじめ、障がい者とその家族、学生、住宅関連企業の方、また一般のシニア層の方やご家族連れの方々です。

今年の来場者数は91,356人（主催者発表）と盛況でした。

協会ブースでは今年も各種防災品の展示、防災品説明パネル、DVD映像、燃焼比較実験を行い大勢の方に立ち寄りいただき防災の効果を確認していただく事ができました。

また、今回も例年同様、防災品認知度アンケートを行い、御来場の方々がどれ位防災品を知って（使って）いただいているのかを調査しました。

ブースで毎日実演していた燃焼比較実験には大勢の方が興味を示し、防災品と一般品の燃え方の違いを見て防災の効果を確認していただく事ができました。



燃焼比較実験を実演中

今回は布張り家具のソファを新しい側地に張り替えて展示したところ「きれいになって防災の効果もあるのはうれしい」、「うっかりタバコを落としても燃え広がらないのが良い」など側地を防災側地に替えるだけで新品のようになり火災防止にも役立つ事などを来場の方々に知っていただく機会にもなりました。



張り替えした防災認定品ソファ



協会ブースの様子

関西地区での大きな展示会ということで毎年出展しておりますが、平成29年9月27日(水)から29日(金)に東京ビッグサイトでも“国際福祉機器展”が開催され

ます。

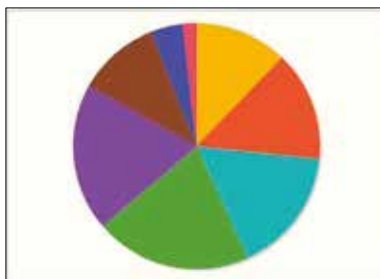
こちらにも出展（住宅防火推進協議会として）いたしますのでお近くの方は是非ご来場下さい。

認知度アンケートの結果は以下のとおりです。

認知度アンケート

集計総数1,074 (4/20 : 306 4/21 : 337 4/22 : 431)

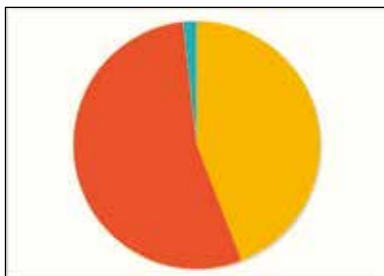
Q1: あなたの年齢はいくつですか？



調査総数 : 1,074

No.	年齢層	回答数	回答比率
1	10代	131	12.2%
2	20代	155	14.4%
3	30代	170	16.6%
4	40代	221	20.6%
5	50代	200	19.4%
6	60代	116	10.8%
7	70代以上	46	4.3%
8	(無回答)	19	1.8%

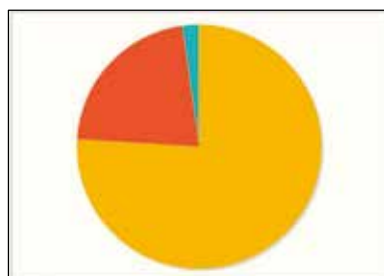
Q2: あなたの性別を教えてください



回答者数: 1,024

No.	性別	回答数	回答比率
1	男性	474	46.1%
2	女性	531	54.1%
3	(無回答)	19	1.8%

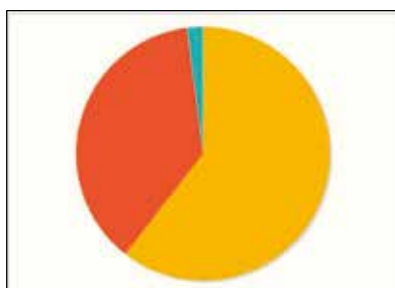
Q3: 「防災」(ぼうえん)という言葉をご存知ですか?



回答者数: 1,074

No.	回答	回答数	回答比率
1	はい	816	76.0%
2	いいえ	234	21.8%
3	(無回答)	24	2.2%

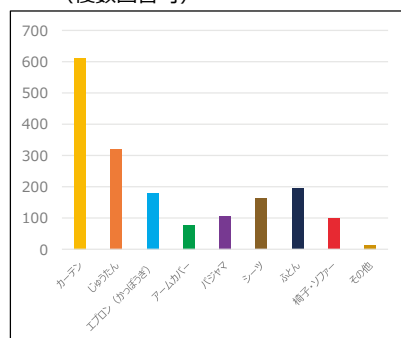
Q4: 「防災品 (ぼうえんひん)」をご存知ですか?



回答者数: 1,074

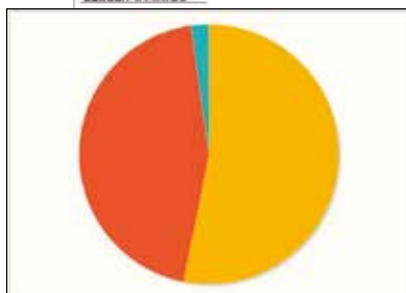
No.	回答	回答数	回答比率
1	はい	650	60.5%
2	いいえ	402	37.4%
3	(無回答)	22	2.0%

Q5: どのような防災品をご存知ですか?
(複数回答可)



No.	選択肢	回答数
1	カーテン	612
2	じゅうたん	321
3	エプロン (かっぱうぎ)	180
4	アームカバー	78
5	パジャマ	107
6	シーツ	163
7	ふとん	194
8	椅子・ソファ	98
9	その他	14

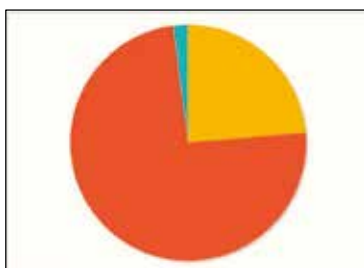
Q6:  こちらのラベルをご存知ですか？



回答者数：1,024

No.	選択肢	回答数	回答比率
1	はい	571	55.2%
2	いいえ	479	44.6%
3	(無回答)	24	2.2%

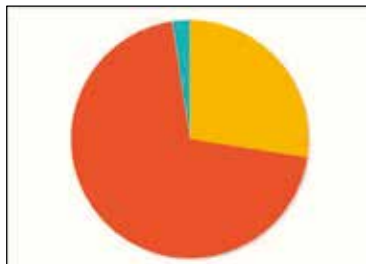
Q7:  こちらのラベルをご存知ですか？



回答者数：1,024

No.	選択肢	回答数	回答比率
1	はい	254	23.6%
2	いいえ	798	74.3%
3	(無回答)	22	2.0%

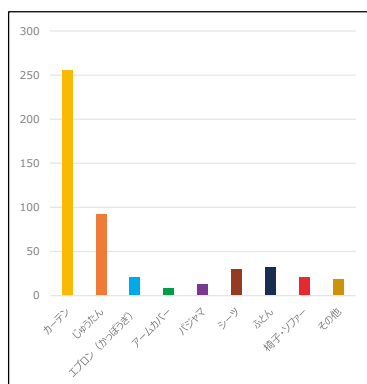
Q8: 防炎品をすでにお使いですか？



回答者数：1,024

No.	選択肢	回答数	回答比率
1	はい	295	27.5%
2	いいえ	753	70.1%
3	(無回答)	26	2.4%

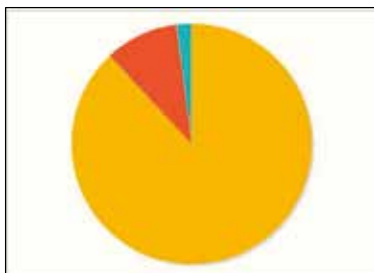
Q9: どの防炎品をお使いですか？
(複数回答可)



No.	選択肢	回答数
1	カーテン	256
2	じゅうたん	92
3	エプロン (かっぱょうぎ)	21
4	アームカバー	8
5	パジャマ	13
6	シーツ	30
7	ふとん	32
8	椅子・ソファ	21
9	その他	18

<その他>の回答
壁紙、タオル、シート、キャンプ用品、防災頭巾、壁紙、バイクカバー、のれん

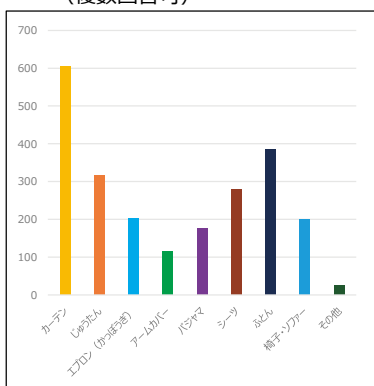
Q10:防災品を使ってみたい（購入したい）と思いますか？



回答数: 1,074

No.	選択肢	回答数	回答比率
1	はい	946	88.1%
2	いいえ	106	9.9%
3	(無回答)	22	2.0%

Q11:どの防災品を使ってみたいですか？
(複数回答可)



No.	選択肢	回答数
1	カーテン	605
2	じゅうたん	315
3	エプロン (かっぱうぎ)	202
4	アームカバー	115
5	パジャマ	176
6	シーツ	280
7	ふとん	384
8	椅子・ソファ	199
9	その他	24

<その他>の回答
服、仏壇、普段着

平成28年度事業報告書及び 決算報告書の概要

(公財)日本防災協会

平成29年6月1日(木)に開催された第25回理事会(定時)において平成28年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)などが審議され、原案どおり可決されました。次いで、6月20日(火)に開催された第13回評議員会(定時)において平成28年度事業報告書が報告され、また決算報告書(案)などが審議され、原案どおり可決されました。その概要は以下の通りです。

平成28年度事業報告書

I 協会の概要

1 会員の現況

平成28年度中における会員の異動状況は次表のとおりである。

表1 会員の異動状況

区 分		入 会	退 会	28年度末
普 通 会 員	団 体			14
	法 人	13	4	346
賛 助 会 員				4
合 計		13	4	364

2 理事会・評議員会の開催状況

平成28年度における理事会・評議員会の開催状況は次のとおりである。

(1) 第22回理事会(平成28年6月2日)

決議(承認)事項

- ・平成27年度事業報告書(案)について
- ・平成27年度決算報告書(案)について
- ・役員等候補者に関する情報(案)について
- ・第11回評議員会(定時)の開催について(案)
- ・役員の賞与について(案)

報告事項

- ・平成28年度の業務執行状況について
- ・会員の異動について

(2) 第11回評議員会(平成28年6月22日)

決議(承認)事項

- ・評議員会議長の互選について
- ・平成27年度決算報告書(案)について
- ・役員等の選任について

- ・役員等候補選出委員会委員の選任について
- 報告事項
 - ・平成27年度事業報告書について
- (3) 第23回理事会（平成28年6月22日）
 - 決議（承認）事項 ＊決議の省略の方法による
 - ・理事長の選定について
 - ・常務理事を含む業務執行理事の選定について
- (4) 第24回理事会（平成29年3月17日）
 - 決議（承認）事項
 - ・平成29年度事業計画書（案）について
 - ・平成29年度収支予算（案）について
 - ・会計規程の改正（案）について
 - ・第12回評議員会（臨時）の開催について
 - 報告事項
 - ・平成28年度職務執行状況・決算見込みについて
 - ・会員の異動について
- (5) 第12回評議員会（平成29年3月27日）
 - 決議（承認）事項
 - ・評議員会議長の互選について
 - 報告事項
 - ・平成28年度決算見込みについて
 - ・平成29年度事業計画書について
 - ・平成29年度収支予算について

3 評議員・役職員の状況

評議員・役員及び職員の状況は次表のとおりである。

表2 評議員・役員の状況（平成29年3月31日）

区 分	常 勤	非常勤	合 計
評議員		21	21
理 事	4	10	14
監 事		2	2

表3 職員の状況（平成29年3月31日）

区 分	常 勤	非常勤	合 計
職 員	46	2	48

4 行事及び各種委員会

(1) 行事

① 防災関係功労者表彰式の開催

ア 平成28年5月31日に、平成28年度の消防機器等関係者表彰式（（一社）全国消防機器協会会長表彰）が開催され、協会関係の功労者が表彰された。

イ 平成28年11月2日に、平成28年度の消防機器開発普及功労者表彰式（消防庁長官表彰）が開催され、協会関係の功労者が表彰された。

ウ 平成28年11月21日に、平成28年度の防災関係者表彰式（理事長表彰）を開催し、永年にわたり防災品の開発や普及に努め、防災関係の発展に多大な貢献をした功労者

を表彰した。
協会関係の功労者表彰の状況は次表のとおりである。

表4 平成28年度防災関係者表彰等の状況

表 彰 の 種 類 等	表 彰 者 数
消防機器等関係者表彰	6人
消防機器開発普及功労者表彰	4人
防災関係者表彰	20人

② 消防関係専門紙（誌）に対する業務説明会の開催

平成28年7月11日に、消防関係専門紙（誌）に対する平成28年度の業務説明会を開催した。

③ 新年賀詞交歓会の開催

平成29年1月11日に、会員相互の親睦と行政機関・諸団体との意見交換を目的とした新年賀詞交歓会を開催した。

(2) 各種委員会

① 予防広報委員会の開催

平成28年6月23日に、火災予防対策の一環として、防災業務の役割及びその普及方法について協議するため、平成28年度の予防広報委員会を開催した。

② ISO/TC94/SC14国内対策委員会（消防隊員用個人防護装備）の開催

ISO/TC94/SC14国内対策委員会を3回開催し、消防隊員用個人防護装備について日本の意見集約をした。

Ⅱ 事業

1 共通事項

(1) 事業全般

防災品に係る防災性能確認等のための試験及び審査、防災品に係る防災表示ラベルの交付及び適正管理指導、防災品に係る品質管理検査及び確認並びに関連事業者への指導、防災技術向上のための専門技術者講習会の開催、防火・防災に関する広報及び防災講座の開催、国内外の防災関係機関との情報交流、資料収集及び防災に関する調査研究等の事業を実施した。

(2) 広報・普及業務

平成28年度においては、消防機関、防災ボランティア、住民防災組織、消費者団体、社会福祉団体、会員等と連携した防災品の普及の促進、住宅防火対策等の推進、広報誌「防災ニュース」・ホームページを通じた防災品の普及、地域における展示会や各種イベントへの参加を通じた防災品の普及促進に努めた。

(3) 調査研究業務

防災品の防災性能の確認及び品質管理業務の推進並びに防災品の普及促進等を図るため、防災規制、防災性能試験等の調査研究を実施し、調査結果をホームページ等で紹介するなど情報の提供に努めた。

(4) 部会活動

会員が中心となって防災品に係る諸課題を検討する場として部会（11部会）を設置しているが、各部会では、防災品の普及、使用方法、環境問題への対応、性能試験法等に関し、情報を交換し、防災品の改善に資することを目的として活動しており、平成28年度の開催状況は次表のとおりである。

表5 部会の開催状況

区 分	開催の状況
二次加工部会	平成28年 5月27日
カーテン等・整染合同部会	平成28年 9月9日
じゅうたん等部会	平成28年 10月13日
重布染色加工部会	平成28年 10月27日
布張家具等部会	平成28年 11月14日
寝具等部会	平成28年 12月2日
防災薬剤部会	平成28年 12月2日
広告幕部会	平成29年 2月13日
消防・防災用品部会	平成29年 3月1日

2 広報・普及業務（公益目的事業・収益事業1）

(1) 防災品の普及促進

- ① 障がいを持つ児童の自立支援の一環として特別支援学校（25校）に防災品を寄贈した。
（宮城県6校・千葉県19校）
- ② 防災の知識、技術等を普及するための防災講座を66回開催した。
- ③ 平成27年度に制作した中学生向け防災品普及啓発用DVDを全国の図書館（3,606ヶ所）及び希望する全国の中学校（1,980校）に無償配布した。
- ④ 各種イベントに参加し、防災品の普及広報を推進した。
ア バリアフリー 2016（平成28年4月21日～23日）
イ 第43回国際福祉機器展H.C.R.2016（平成28年10月12日～14日）
ウ 大阪国際消防防災展2016（平成28年6月10日～11日）
- ⑤ 出展を要請する消防署主催のイベントに参加するほか、希望する消防署には防災品や広報用資機材を貸与した。

(2) 消防関係機関等との協力・連携関係の強化

- ① 消防機関等が行う住民向け防災指導で活用する燃焼比較実験用資機材等を貸与した。
- ② 防災品普及広報ポスターを制作し、全国の市区町村・消防機関に15万枚配布した。
- ③ 住宅防火対策の一環として消防本部が主催する住宅防火対策事業に防災製品を747セット提供した。
- ④ 消防庁及び住宅防火対策推進協議会が主催し、全国5カ所で行った「平成28年度住宅防火防災推進シンポジウム」等に参加し、防災品の広報を実施した。
- ⑤ 消防機関、全国消防長会等が主催する各種会議に参加し、防災に関する情報の提供、意見の交換等を行った。
- ⑥ 高層用住宅向け防災物品普及促進ポスター・チラシを制作し、全国の政令都市等の消防本部に配付した。
- ⑦ （一財）全国消防機器協会社会貢献事業に参加し、全国20か所の町会・自治会に防災製品を寄贈した。

(3) 広報媒体による防災思想の一般消費者等への更なる周知

- ① 広報誌「防災ニュース」を季刊発行し、消防本部から提供された防災品の奏効事例を継続的に掲載するなどして全国に情報提供した。
- ② ケーブルテレビ1局とFMラジオ1局で防災品の広報を実施した。
- ③ 動画投稿サイトYouTubeのなかに「防災チャンネル」を設け、多くの方が閲覧できるよう配信している。

3 試験・技術業務

(1) 試験業務

① 防災物品等の防災性能確認試験（公益目的事業）

登録表示者からの申請による防災性能を有することを確認するための試験を次表のとおり実施した。

表6 防災物品等の防災性能確認試験実施状況

防災物品等の種類	28年度	27年度
カーテン	1,127	1,067
布製ブラインド	153	212
工事用シート	89	108
合板	11	17
じゅうたん等	849	722
防災薬剤	1	0
合 計	2,230	2,126
前年度比（％）	104.9	—

(注) カーテンには、カーテンのほか暗幕、どん帳その他舞台において使用される幕を含む。

② 防災製品の防災性能確認試験（収益事業1）

防災製品の認定のため、防災性能を有することを確認するための試験を次表のとおり実施した。

表7 防災製品の防災性能確認試験実施状況

防災製品の種類		28年度	27年度
① 寝具類	側地類	41	29
	ふとん類	48	25
	毛布類	30	18
② テント類	}	430	465
③ シート類			
④ 幕 類			
⑤ 非常持出袋		3	4
⑥ 防災頭巾等		12	12
⑦ 防災頭巾等側地		7	7
⑧ 防災頭巾等詰物類		5	5
⑨ 衣服類	材料	3	0
	完成品	9	2
⑩ 布張家具等		21	10
⑪ 布張家具等側地		13	13
⑫ 自動車・オートバイ等のボディカバー		6	0
⑬ ローパーティションパネル		22	10
⑭ 襖紙・障子紙等		1	0
⑮ 展示用パネル		44	18
⑯ 祭 壇		0	0
⑰ 祭壇用白布		0	0
⑱ マット類		12	5
⑲ 防護用ネット		15	21
⑳ 防火服		25	2
㉑ 防火服表地		4	1

㉔ 木製等ブラインド	5	17
㉕ 活動服	2	4
㉖ 災害用間仕切り等	4	10
㉗ 作業服	4	0
合 計	766	678
前 年 度 比 (%)	113.0	—

- ③ 防災物品等の品質管理等に係る試験依頼の受託（公益目的事業）
登録表示者の品質管理等のための防災性能試験を次表のとおり実施した。

表 8 防災物品等の品質管理等に係る試験依頼の受託実施状況

防災物品等の種類	28年度	27年度
カーテン	142	137
布製ブラインド	67	48
工事用シート	703	462
合 板	4	7
じゅうたん等	441	494
防災薬剤	1	2
合 計	1,358	1,150
前年度比 (%)	118.1	—

(注) カーテンには、カーテンのほか暗幕、どん帳その他舞台において使用される幕を含む。

- ④ 防災製品の品質管理等に係る試験依頼の受託（収益事業 1）
防災製品の品質管理等のための防災性能試験を次表のとおり実施した。

表 9 防災製品の品質管理等に係る試験依頼の受託実施状況

防災製品の種類			28年度	27年度
① 寝具類	側地類		55	7
	詰物類	(中わた等)	0	0
		(羽 毛)	0	0
	ふとん類		64	32
	毛布類		8	10
② テント類	}		303	379
③ シート類				
④ 幕 類				
⑤ 非常持出袋			1	12
⑥ 防災頭巾等			15	22
⑦ 防災頭巾等側地			2	3
⑧ 防災頭巾等詰物類			2	0
⑨ 衣服類	材料		1	0
	完成品		1	3
⑩ 布張家具等			19	22
⑪ 布張家具等側地			9	15
⑫ 自動車・オートバイ等のボディカバー			2	0
⑬ ローパーティションパネル			19	8
⑭ 襖紙・障子紙等			2	4
⑮ 展示用パネル			15	18

⑯ 祭壇	0	0
⑰ 祭壇用白布	1	1
⑱ マット類	10	2
⑲ 防護用ネット	14	13
⑳ 防火服	8	0
㉑ 防火服表地	0	0
㉒ 木製等ブラインド	5	4
㉓ 活動服	1	0
㉔ 災害用間仕切り等	0	2
㉕ 作業服	0	0
合 計	557	557
前 年 度 比 (%)	100.0	—

⑤ 防災品を取り巻く環境変化に応じ、試験実施体制の強化を図った。

ア 平成28年10月1日より、消防庁の了承を得て、着炎後3秒<6秒>加熱試験の運用を変更（1分<2分>加熱試験で炎が目視できないものは、着炎後3秒<6秒>加熱試験を実施しない。）し、認定機関の間の試験方法統一を図った。（公益目的事業・収益事業1）

イ 新規ドライクリーニング機は「同等以上の洗たく性能を有する方法」として消防庁の了承を得、大阪試験室のドライクリーニング機を更新し、使用を開始した。（公益目的事業・収益事業1）

ウ 東京試験室と大阪試験室の連携を強化し、洗たく業務の応援体制、試験業務の平準化等により、納期短縮に努めた。（公益目的事業・収益事業1）

エ 大阪事務所及び大阪試験室の業務の効率性を図るため、ドライクリーニング機の更新に併せ、事務所全体のレイアウトの変更を行った。（公益目的事業・収益事業1）

(2) 技術業務

① カーテンの防災性能の経年変化継続調査（公益目的事業）

7年経過（実使用）したカーテンの防災性能試験を実施した。大きな変化は見られなかった。

② 国内外の防災規制・規格等の情報収集、分析及び情報提供

ア POPs条約での防災薬剤DBDEに関する規制の動向と今後の対応及び労働安全衛生法での三酸化アンチモン規制の動向について、関係部会において情報提供を行った。また、広報誌「防災ニュース」4月号でDBDE規制の予測時期と代替薬剤への切り替えについて注意喚起を行った。（公益目的事業・収益事業1）

イ 平成26年度に行った建物用途別の防災品に関する海外の法規制に関する情報を「防災ニュース」に掲載した。

英国の製品の防災化については4月号、英国の建物用途別の法規制については7月号（収益事業1）

③ 熱溶融性繊維に対する防災性能試験のコイル法について、4試験機関でのラウンドロビン試験を実施し、試験精度向上の方策を抽出した。今後、試験方法の適正化と統一を図っていく。（公益目的事業・収益事業1）

④ 防災性能に係る耐洗濯性能の基準（水洗い洗濯）に対し、「同等以上の洗たく性能を有する方法」として、標準機、協会使用機の洗濯性能（洗浄率、すすぎ液残留洗剤濃度）に差がないことを確認した。（公益目的事業・収益事業1）

⑤ ISO/TC94/SC14（消防隊員用個人防護装備）の事務局として国内対策委員会を6月、9月、2月に開催したほか、2回の国際会議（7月：アメリカ、10月：スイス）の準備と

報告を行った。

また、総務省消防庁の消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン見直しの検討会に
参画した。(平成29年3月7日に新ガイドライン公表)(収益事業1)

⑥ 防災物品等の新規登録、登録失効及び再登録の状況(公益目的事業)

防災物品等の新規登録、登録失効及び再登録の状況は次表のとおりである。

表10 防災物品等の新規登録、登録失効及び再登録の状況

防災物品等の種類	新規登録件数	登録失効件数	28年度末有効登録件数		27年度末 有効登録件数
				再登録件数	
カーテン	884	776	6,510	1,528	6,402
布製ブラインド	114	158	1,441	356	1,485
工事用シート	76	64	666	135	654
合 板	11	10	142	34	141
じゅうたん等	718	553	7,012	1,634	6,847
防災薬剤	1	4	52	27	55
合 計	1,804	1,565	15,823	3,714	15,584
前年度比(%)	101.0	109.7	101.5	110.7	—

(注) カーテンには、カーテンのほか暗幕、どん帳その他舞台において使用される幕を含む。

⑦ 防災製品の新規認定、認定失効及び認定更新の状況(収益事業1)

防災製品の新規認定、認定失効及び認定更新の状況は次表のとおりである。

表11 防災製品の新規認定、認定失効及び認定更新の状況

防災製品の種類		新規認定件数	認定失効件数	28年度末有効認定件数		27年度末 有効認定件数
					認定更新件数	
① 寝具類	側地類	6	60	66	14	120
	詰物類		2	0		2
	ふとん類	23	50	253	46	280
	毛布類	21	7	156	15	142
② テント類	}	337	167	2,738	276	2,568
③ シート類						
④ 幕 類						
⑤ 非常持出袋		2	8	60	24	66
⑥ 防災頭巾等		8	14	84	7	90
⑦ 防災頭巾等側地		1	8	37	8	44
⑧ 防災頭巾等詰物類		0	1	18	6	19
⑨ 衣服類		7	4	53	6	50
⑩ 布張家具等		20	16	135	0	131
⑪ 布張家具等側地		10	39	103	14	132
⑫ 自動車・オートバイ等 のボディカバー		6	0	17	0	11
⑬ ローパーティションパ ネル		10	78	114	13	182
⑭ 襖紙・障子紙等		1	0	17	9	16
⑮ 展示用パネル		12	4	105	11	97
⑯ 祭 壇		0	0	5	1	5
⑰ 祭壇用白布		0	0	8	0	8

⑮ マット類	6	0	24	1	18
⑯ 防護用ネット	12	4	140	18	132
⑰ 防火服	6	4	37	7	35
⑱ 防火服表地	3	0	11	2	8
㉒ 木製等ブラインド	1	9	33	4	41
㉓ 活動服	4	0	11	0	7
㉔ 災害用間仕切り等	4	2	15	1	13
㉕ 作業服	4	0	11	0	7
合 計	504	447	4,251	483	4,224
前 年 度 比 (%)	108.9	142.8	100.6	176.3	—

4 品質管理等業務

(1) 確認検査・審査の実施（公益目的事業）

登録確認機関として確認業務における品質管理に関し実施した確認検査・審査件数は次表のとおりである。

表12 品質管理に関する確認検査・審査の状況

区 分	28年度件数	28年度末登録件数	27年度件数
製造業	36	565	28
防災処理業	11	874	11
輸入販売業	38	820	45
裁断・施行・縫製業	290	31,373	288
合 計	375	33,632	372
前年度比 (%)	100.8	—	—

(2) 品質管理の推進

① 防災事業者による品質管理状況の点検強化の推進（公益目的事業・収益事業1）

自社における品質管理の適正化のための点検の実施及び品質改善の指導を推進した。

② 抜取・試買の実施

ア 「防災ラベル等取扱い及び品質管理に関する規程」に基づき、次表のとおり防災物品の抜取や市販品の試買を行い、防災性能確認試験を実施するとともに、不適合発生事業者に対して「防災物品に係る不適合等に対する措置に関する規程」による品質改善指導を推進した。（公益目的事業）

表13 防災物品の抜取・試買（試験）の実施状況

防災物品の種類	28年度件数			27年度件数
	抜取試験件数	試買試験件数	合計件数	
カーテン	363	106	469	467
布製ブラインド	19	1	20	27
工事用シート	19	4	23	39
合 板	17	31	48	60
じゅうたん等	30	0	30	33
合 計	448	142	590	626
前年度比 (%)	—	—	94.2	—

イ 「防災製品ラベル取扱い及び品質管理に関する規程」に基づき、次表のとおり防災製品の抜取や市販品の試買を行い、防災性能確認試験を実施するとともに、不適合発生事業者に対して品質改善指導を推進した。（収益事業1）

表14 防災製品の抜取・試買（試験）の実施状況

防災製品の種類		28年度実施件数			27年度 実施件数
		抜取試験件数	試買試験件数	合計件数	
① 寝具類	敷布・カバー類	0	0	0	1
	敷きふとん・座布団	1	0	1	1
	枕	0	0	0	0
	毛布	6	0	6	6
④ 幕 類	屋外用	88	4	92	65
	屋内用	2	0	2	4
⑤ 非常持出袋		1	1	2	3
⑥ 防災頭巾等		4	0	4	5
⑨ 衣服類		1	0	1	1
⑪ 布張家具等側地		1	0	1	2
⑫ 自動車・オートバイ等のボ ディカバー		0	0	0	1
⑮ 展示用パネル		3	0	3	3
⑰ 祭壇用白布		1	0	1	0
⑱ マット類		1	0	1	0
⑲ 防護用ネット		0	0	0	2
合 計		109	5	114	94
前年度比（％）		—	—	121.3	—

③ 定期・随時調査の実施

ア 登録表示者に対する定期・随時調査の実施状況は次表のとおりである。（公益目的事業）

表15 登録表示者に対する定期・随時調査の実施状況

区 分	製造業・防災処理業	輸入販売業	合 計
28年度実施件数	30	5	35
27年度実施件数	75	41	116

イ 防災製品認定事業所37社（27年度55社）に対して定期・随時調査を実施した。（収益事業1）

(3) 防災品ラベル等の交付業務

防災品ラベル等の交付に当たり、その発行を適正に、かつ効率的に行った。

ア 防災物品ラベル等の交付状況は次表のとおりである。（公益目的事業）

表16 防災物品ラベル等の交付状況

(単位：千枚)

防災物品等の種類	28年度交付枚数	27年度交付枚数
カーテン	8,521	8,821
布製ブラインド	1,406	1,356
工事用シート	8,103	7,081
合板	1,138	1,034
じゅうたん等	1,642	1,587
防災薬剤	1	1
合 計	20,811	19,880
前年度比（％）	104.7	—

(注) カーテンには、カーテンのほか暗幕、どん帳その他舞台において使用される幕を含む。

- イ 防災カーテンのトレーサビリティ確保のため、防災カーテンの製造事業者等に照会番号を記載した補助ラベルを支給した。(24,388千枚) (公益目的事業)
- ウ 防災製品ラベルの交付状況は次表のとおりである。(収益事業1)

表17 防災製品ラベルの交付状況 (単位：千枚)

防災製品の種類	平成28年度交付枚数	平成27年度交付枚数
① 寝具類	1,478	1,046
② テント類	9,380	8,915
③ シート類		
④ 幕 類		
⑤ 非常持出袋	183	119
⑥ 防災頭巾等	597	482
⑦ 防災頭巾等側地		
⑧ 防災頭巾等詰物類		
⑨ 衣服類	16	21
⑩ 布張家具等	31	60
⑪ 布張家具等側地		
⑫ 自動車・オートバイ等のボディカバー	57	74
⑬ ローパーティションパネル	1	1
⑭ 襖紙・障子紙等	1	0
⑮ 展示用パネル	6	10
⑯ 祭 壇	49	28
⑰ 祭壇用白布		
⑱ マット類		
⑲ 防護用ネット	175	188
⑳ 防火服	20	17
㉑ 防火服表地		
㉒ 木製等ブラインド	19	19
㉓ 活動服	22	28
㉔ 災害用間仕切り等	1	0
㉕ 作業服	0	5
①～㉕の材料	96	91
合 計	12,133	11,105
前年度比 (%)	109.3	—

(注) 千枚未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

5 防災技術等講習事業

(1) 防災加工専門技術者講習会の開催 (収益事業2)

防災加工専門技術者に必要な知識及び技能を習得するための講習会を「防災加工専門技術者講習会規程」に基づき実施した。

防災加工専門技術者講習会の受講状況は次表のとおりである。

表18 防災加工専門技術者講習会の受講等状況 (単位：人)

区 分	28年度	28年度末累計	27年度
受講者数	78	8,177	91
合格者数	75	6,643	83
合格率 (%)	96.2	81.2	91.2

(2) 防災加工専門技術者再講習会の開催 (収益事業2)

「防災加工専門技術者講習会規程」に基づき、講習修了証の交付を受けた者が防災に関する知識及び技能の更新に対応できるようにするため、修了証取得後5年に1回以上受講する再講習会を実施し、合計185名(27年度180名)が受講した。

(3) 技術等研修会の開催 (公益目的事業)

・登録表示者を対象に東京試験室及び大阪試験室において、各々1回の防災性能試験実地研修会を実施し合計16名(27年度16名)の登録表示者が参加した。

・裁断・施工・縫製業者に対する防災ラベルの表示・管理に関する講習会について、4団体の64会場、総出席者2,314名で実施した。

決算報告書の概要

貸 借 対 照 表

平成29年3月31日現在

単位：円

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	60,307,285	35,545,150	24,762,135
未 収 金	71,980,085	70,981,424	998,661
前 払 金	3,706,175	3,754,875	△ 48,700
貯 蔵 品	17,674,582	22,463,713	△ 4,789,131
流 動 資 産 合 計	153,668,127	132,745,162	20,922,965
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定期預金・有価証券	670,000,000	670,000,000	0
基 本 財 産 合 計	670,000,000	670,000,000	0
(2) 特 定 資 産			
退職給付引当資産	129,920,834	107,117,867	22,802,967
電子化システム整備等準備資産	76,487,500	76,487,500	0
特 定 資 産 合 計	206,408,334	183,605,367	22,802,967
(3) その他固定資産			
借 室 造 作	37,180,642	35,593,169	1,587,473
器 具 備 品	5,989,864	10,104,295	△ 4,114,431
ソ フ ト ウ ェ ア	744,331	3,492,427	△ 2,748,096
敷	41,877,204	41,877,204	0
長 期 前 払 費 用	2,018,668		2,018,668
そ の 他 固 定 資 産 合 計	87,810,709	91,067,095	△ 3,256,386
固 定 資 産 合 計	964,219,043	944,672,462	19,546,581
資 産 合 計	1,117,887,170	1,077,417,624	40,469,546
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	51,282,527	33,886,132	17,396,395
未 払 消 費 税	10,932,700	4,916,610	6,016,090
前 受 金	23,760	506,620	△ 482,860
預 り 金	2,133,944	2,547,076	△ 413,132
賞 与 引 当 金	15,024,711	13,192,330	1,832,381
未払法人税等引当金	7,133,300	419,500	6,713,800
流 動 負 債 合 計	86,530,942	55,468,268	31,062,674
2 固 定 負 債			
退職給付引当金	133,060,000	139,167,000	△ 6,107,000
固 定 負 債 合 計	133,060,000	139,167,000	△ 6,107,000
負 債 合 計	219,590,942	194,635,268	24,955,674
III 正 味 財 産 の 部			
1 一 般 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	898,296,228	882,782,356	15,513,872
(うち特定資産への充当額)	(670,000,000)	(670,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(76,487,500)	(76,487,500)	0
正 味 財 産 合 計	898,296,228	882,782,356	15,513,872
負債及び正味財産合計	1,117,887,170	1,077,417,624	40,469,546

正味財産増減計算内訳表

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

単位：円

科 目	公益目的事業 会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
		防災物品 開発・管理事業	防災技術 講習事業	共 通			
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経 常 収 益							
①基本財産運用益	1,358,736				554,976		1,913,712
②受取会費	19,422,500				19,422,500		38,845,000
③事業収益	554,549,406	284,920,464	4,344,840				843,814,710
④雑収益	237,605	628,387	13,510				879,502
経常収益計	575,568,247	285,548,851	4,358,350		19,977,476		885,452,924
(2) 経常費用							
①事業費	608,612,084	226,354,062	4,641,259		22,780,004		839,607,405
②管理費							22,780,004
経常費用計	608,612,084	226,354,062	4,641,259		22,780,004		862,387,409
当期経常増減額	△ 33,043,837	59,194,789	△ 282,909		△ 2,802,528		23,065,515
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
(2) 経常外費用							
当期経常増減額	283,528	134,815			134,815		418,343
他会計振替額	△ 283,528	△ 134,815			△ 134,815		△ 418,343
税引前当期一般正味財産増減額	33,327,365	△ 36,129,893			△ 36,129,893		0
法人税等充当額	0	22,930,081	△ 282,909		22,647,172	2,802,528	22,647,172
税引後当期一般正味財産増減額	0	7,133,300	△ 282,909		7,133,300		7,133,300
一般正味財産期首残高	598,629,059	15,796,781	△ 282,909		15,513,872		15,513,872
一般正味財産期末残高	598,629,059	64,702,162	2,281,795		217,169,340		882,782,356
正味財産期末残高	598,629,059	80,498,943	1,998,886		217,169,340		898,296,228
		80,498,943	1,998,886		217,169,340		898,296,228

防災北から南から・防災西から東から

春の火災予防運動イベント

福岡市消防局
防災センター事業推進課
(福岡市民防災センター)

平成29年3月5日(日) 福岡市早良区
百道浜、福岡市民防災センターにおいて
「春の火災予防運動イベント」が開催
されました。



福岡市民防災センターでは、防火・防災・減災教育の普及啓発を目的に、年間6回のイベントを開催しています。今回は、3月1日から7日までの「春の火災予防運動」を契機に、当イベントにおいて地域住民を対象とした「住宅防火対策講演会」を開催しました。その他、出火時の対応から避難までの一連の動作を模擬体験していただき、消火器の正しい使い方や避難方法を身に付けていただくコーナーなど、市民参加型の様々なブースを設けました。



当日は天候もよく、約700名の来館者を迎え、広く火災予防を啓発するイベントとして防火意識の高揚を図ることができました。

(公財)日本防災協会からは、身近な防災製品のパネル展示や防災チラシ等の配布による防災啓発ブースをご提供いただきました。来館者の関心も高く、防災製品取扱店のお問い合わせなどが数多くありました。

防災北から南から・防災西から東へ

春の火災予防運動期間にあわせて 「北海道消防PR展」を開催！

北海道事務所

平成29年4月24日（月）から26日（水）の3日間、北海道庁1階ホールにおきまして、「北海道消防PR展」が開催されました。



平成29年4月24日～26日「北海道消防PR展」
（北海道庁1階ホール）

毎年、春の火災予防運動（北海道は4月20日から30日の11日間）にあわせて、北海道庁が主催しているもので、日本防災協会北海道事務所をはじめ、北海道消防協会や、札幌市防災協会も出店者として参加、会場に設けられた展示ブースに、防災カーテン、じゅうたん、寝具等のパネル展示や、防災品と非防災品の燃焼比較写真を掲出しました。



防災品の展示状況

期間中における関係団体のブースでは、消防団活動の紹介、防災用品や住宅用火災警報器等の紹介がされており、肌寒い中にも係わらず毎日多くの来場者や職員等で賑わっていました。



北海道消防PR展の来場風景

当コーナーに立ち寄られた方々からは、パネル展示されている防災品に触り、「肌触りが普通の布と変わらない」との感想や「ほかにどのような種類があるのか」など、パンフレットを手にとって高い関心を示していました。

今後も道内の各種関係行事の機会を捉えて、防災品の普及とPR活動を続けてまいります。

防災北から南から・防災西から東から

京都市北少年消防クラブ員が 防災をアピール

京都市消防局北消防署

京都市北少年消防クラブでは、平成29年6月25日（日）午前9時30分から同11時30分まで、京都市北区の大型商業施設キタオオジタウンで同クラブの学習会として「街頭広報」を行いました。

当初の計画では、隣接の上京少年消防クラブと合同で「天神さん（菅原道真公の命日に立つ市）」で賑わう北野天満宮

などで街頭広報を行う予定でしたが、あいにくの梅雨の天気で、北少年消防クラブ単独の活動に変更、場所もキタオオジタウンに移してでしたが、雨にもマケズ実施しました。

通行人や買い物客に防火・防災啓発のポケットティッシュを手渡ししながら、「火事が多いので、火の用心をお願いします！」、「火事に気を付けてください！」、「防災品を使いましょう」など火災予防を呼び掛けました。

やはり、子供たちの元気な呼び掛けには、立ち止まり耳を傾けてくれる人が多かったです。



北少年消防クラブの皆さん



小さなお子さん連れにも「ハイ！ どうぞ」



みんなで防火を呼びかけます

協会ニュース

◇ 月例会議（旧：品質保証会議）

日 時：平成29年 4 月19日（水）

会 場：協会会議室

◇ 防災講座

日 時：平成29年 4 月20日（木）

会 場：山形県消防学校

◇ バリアフリー展

日 時：平成29年 4 月20日（木）～22日（土）

会 場：インテックス大阪

◇ 防災講座

日 時：平成29年 4 月26日（水）

会 場：久万高原町消防本部・消防署

◇ 防災講座

日 時：平成29年 4 月26日（水）

会 場：千歳市消防本部

◇ 消防・防災用品部会（作業部会）

日 時：平成29年 5 月 9 日（火）

会 場：エッサム神田ホール

議 題：防火服の性能試験に関する
意見交換

◇ 防災ニュース編集委員会

日 時：平成29年 5 月 9 日（火）

会 場：協会会議室

◇ 防災講座

日 時：平成29年 5 月10日（水）

会 場：滝野川防火防災女性の会

◇ 月例会議

日 時：平成29年 5 月16日（火）

会 場：協会会議室

◇ 全国消防長会・予防委員会

日 時：平成29年 5 月18日（木）

会 場：千葉県千葉市

◇ 全国消防長会・警防防災委員会

日 時：平成29年 5 月18日（木）

会 場：宮城県気仙沼市

◇ 防災講座

日 時：平成29年 5 月18日（木）

会 場：筑西広域防火管理協議会

◇ 防災講座

日 時：平成29年 5 月19日（金）

会 場：佐世保市婦人防火クラブ連絡協
議会

◇ 二次加工部会

日 時：平成29年 5 月22日（月）

会 場：エッサム神田ホール

議 題：(1)防災カーテンラベル交付実
績等

(2)二次加工業者への定期調査
状況

(3)防災性能試験について

(4)二次加工防災カーテンの加工
実績等状況

(5)二次加工の課題と対応等

(6)その他

◇ 防災講座

日 時：平成29年 5 月22日（月）

会 場：尾道市消防局

◇ 防災講座

日 時：平成29年 5 月28日（日）

会 場：上山市消防本部

◇ 防災講座

日 時：平成29年 5 月29日（月）

会 場：蒲田女性防火クラブ

◇ 全国消防機器協会総会・理事会・
会長表彰式・祝賀会

日 時：平成29年 5 月31日(水)

会 場：明治記念館

◇ 第25回理事会

日 時：平成29年 6 月 1 日(木)

会 場：アーバンネット神田カンファレンス

議 題：(1)平成28年度事業報告書(案)
について

(2)平成28年度決算報告書(案)
について

(3)その他

◇ SC14国内対策委員会

日 時：平成29年 6 月 2 日(金)

会 場：フォーラムミカサ・エコ

◇ 防護服協議会定期総会

日 時：平成29年 6 月 6 日(火)

会 場：台東区立台東区民会館

◇ 防災講座

日 時：平成29年 6 月 8 日(木)

会 場：犬山市危険物安全協会

◇ 防災講座

日 時：平成29年 6 月 8 日(木)

会 場：安芸高田市危険物安全協会

◇ 防災講座

日 時：平成29年 6 月 8 日(木)・9 日(金)

会 場：光が丘消防署

◇ TC94国内審議委員会

日 時：平成29年 6 月12日(月)

会 場：医科器械会館

◇ 月例会議

日 時：平成29年 6 月13日(火)

会 場：協会会議室

◇ 防災講座

日 時：平成29年 6 月14日(水)

会 場：宮崎県消防学校

◇ 防災講座

日 時：平成29年 6 月16日(金)

会 場：久留米広域消防本部

◇ 第13回評議員会

日 時：平成29年 6 月22日(木)

会 場：エッサム神田ホール

議 題：(1)平成28年度決算報告書(案)
について

(2)役員等の選任について

(3)その他

◇ 防災講座

日 時：平成29年 6 月21日(水)

会 場：富士山南東消防本部

◇ 防災講座

日 時：平成29年 6 月21日(水)

会 場：柳川市幼少年婦人防火委員会

◇ 防災講座

日 時：平成29年 6 月23日(金)

会 場：青森県消防学校

◇ 予防広報委員会

日 時：平成29年 6 月28日(水)

会 場：TKP東京駅前カンファレンス
センター

◇ 防災加工専門技術者講習会
(東京会場)

日 時：平成29年 6 月29日(木)・30日(金)

会 場：フォーラムミカサ・エコ

防災物品試験番号・防災製品製品番号取得件数
平成29年4月1日～平成29年6月30日

区分	記号	品 目	件 数
防 災 物 品 等	A	カーテン	221
	B	布製ブラインド	32
	C	工事用シート	17
	D	合 板	1
	E	じゅうたん等	201
	F	防災薬剤	2
		合 計	474

区分	記号	品 目	件 数
防 災 製 品	A	側 地 類	4
	CC	ふ と ん 類	19
	DD	毛 布 類	3
	E	木製等ブラインド	0
	F	テント類・シート類・幕類	125
	G	非常持出袋	3
	HH	防災頭巾等	1
	HA	防災頭巾等側地	1
	HB	防災頭巾等詰物類	1
	J	災害用間仕切り等	0
	K	衣 服 類	1
	L	布張家具等	1
	P	布張家具等側地	8
	PH	張替用布張家具等側地	0
	R	自動車・オートバイ等のボディカバー	3
	S	ローパーティションパネル	3
	T	襖紙・障子紙等	0
	U	展示用パネル	7
	V	祭 壇	0
	W	祭壇用白布	0
	X	マ ッ ト 類	1
	Y	防護用ネット	1
	Z	防 火 服	2
	ZA	防火服表地	0
	ZK	活 動 服	0
	ZS	作 業 服	0
		合 計	184



防災ニュースNo.211 平成29年7月18日発行
(年4回発行)
発行人 丸山 浩司
編集人 栄 文隆
発行所 公益財団法人 日本防災協会
東京都中央区日本橋室町4-1-5 共同ビル
TEL 03(3246)1661 FAX 03(3271)1692
印刷所 オフィス・ワン(有)

業種別防災登録表示者数 (平成29年6月30日現在)					
業 種	製 造 業	防災処理業	輸入販売業	裁断・施工・縫製業	計
防災登録表示者数	566	872	826	31,433	33,697